

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

ファミリー

～みむる～

第39号

令和8年
9月



院長ごあいさつ/
新任医師の紹介
病気の話:

外科・消化器外科

各部門からの情報:

臨床工学技術部・リハビリテーション部

薬剤部・中央臨床検査部

中央放射線部・栄養管理部

各講座案内／ほか



QMS
JIS Q 9001
JSAQ 2957

「医療サービスの提供」



MS
CM001



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefecture Seiya Medical Center

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長

土肥 直文

皆さま、こんにちは。9月に入っても、まだまだ厳しい暑が続く毎日ですが、体調を崩されてはいないでしょうか？

さて、ここに西和医療センター情報誌「ファミリーユミむろ」の最新号をお届けします。今号は、当院で2年半前から稼働しています、手術支援ロボット「ダヴィンチ」についての特集を組んでいます。外科・消化器外科の大腸外科部長である榎塚久記先生は、大変高度な手術手技を有する西和医療センターの看板ドクターです。この手術支援ロボット「ダヴィンチ」は、人間の手の動きでは不可能なロボット特有の非常に細かな関節の動きを可能とする手（ロボットアーム）を術者である榎塚先生が巧みに操ることで、これまでの開腹手術や腹腔鏡手術では不可能だった繊細な手技を実現してくれます。また、様々な手術の中でも骨盤の奥にある直腸手術においては、その威力を特に大きく発揮し、実に繊細な手術を可能にしてくれます。大腸がんは、皆さまにとっても検診等で指摘されることがよくある、とても身近な病気です。この機会に是非、大腸がんの治療方法についての知識を深めておいてください。また、この内容に合わせて様々な職種のスタッフにより、がんのリハビリテーション、がんの薬物療法、がんを見つける為の検査、更には腸にやさしい食事などの紹介もしており、充実したものに仕上がっていると思います。大腸がんについて詳しい方、また身近に感じておられない方にも是非、このファミリーユミをお持ち帰りいただき、じっくり読んでいただければと思います。猛暑の季節ですが、熱中症など暑さに関する十分な対策をとっていただき、この夏を健康にお過ごしください。

令和8年9月

新任医師紹介

令和8年7月1日付

脳神経外科
部長



たかむら よしあき
高村 慶旭



●大腸がんは身近な病気です

大腸がんは、日本人に最も多いがんの一つです。高齢化や食生活の変化などを背景に患者数は増加しており、年間約15万人が新たに大腸がんと診断されています。一方で、大腸がんは早期発見・早期治療によって治癒が期待できる病気でもあります。便潜血検査や大腸内視鏡検査を受けることで、がんになる前のポリープを発見できる場合もあります。血便、便秘や下痢などの便通異常、腹痛、体重減少などの症状がある場合はもちろん、症状がなくても定期的な検診を受けることが大切です。

～大腸がんの治療～

大腸がんの治療は、がんの進行度によって異なります。

・早期がん

内視鏡治療で切除できることがあります。

・進行がん

手術が治療の中心となります。必要に応じて抗がん剤治療を組み合わせることで、再発予防や治療効果の向上を目指します。

近年は分子標的薬や免疫療法なども登場し、大腸がん治療は大きく進歩しています。

●ロボット支援手術とは？

「ロボット手術」と聞くと、ロボットが自動的に手術をすると思われる方もおられるかもしれませんが、しかし、実際に手術を行うのは外科医です。医師が操作装置（コンソール）に座り、ロボットアームを操作しながら手術を進めます。ロボットは医師の動きを正確に再現し、より精密な操作を可能にする「手術支援機器」です。患者さんのお腹に数か所の小さな穴をあけ、そこにカメラや専用器具を挿入して手術を行います。



【ダヴィンチ手術システムXi(エックス・アイ)】 専用手術器具により、医師の手の動きを正確に再現可能

ロボット支援手術の特徴

- ① 傷が小さい…お腹を大きく切開しないため、傷が比較的小さくなります。
- ② 出血が少ない…細かな血管を確認しながら手術できるため、出血を抑えられる可能性があります。
- ③ 術後の痛みを軽減…個人差はありますが、開腹手術と比較して痛みが少ないことが期待されます。
- ④ 回復が早い…早期離床や早期退院につながる可能性があります。
- ⑤ 精密な手術が可能…鮮明で立体的な画像を見ながら、細かな神経や血管を確認して手術を行うことができます。

●特に直腸がんで力を発揮します

直腸は骨盤の奥深くに存在しています。周囲には排尿や性機能に関わる重要な神経が集まっており、限られた空間の中で正確な手術が求められます。ロボット支援手術では、狭い場所でも器具を自在に動かすことができるため、神経や血管を丁寧に温存しながら手術を行うことが期待されています。

また、がんを確実に切除するための精密な操作が可能であり、質の高い手術につながると考えられています。

★よくある質問★



Q1 ロボットが勝手に手術するのですか？

いいえ。手術はすべて外科医が行います。ロボットは医師の操作を補助する医療機器です。

Q2 ロボット手術は安全ですか？

ロボット支援手術は、十分な研修を受けた医師と手術チームで行います。当院でも安全性を最優先に実施しています。

Q3 保険は使えますか？

はい。大腸がんに対するロボット支援手術は健康保険が適用されています。

Q4 入院期間は短くなりますか？

患者さんの状態によって異なりますが、術後の回復が早くなることが期待されています。

Q5 誰でもロボット手術を受けられますか？

全ての患者さんに適しているわけではありません。がんの場所や進行度、全身状態などを総合的に判断し、最適な治療法をご提案します。

●西和医療センターでロボット支援手術を開始しました

西和医療センターでは、2024年7月より大腸がんに対するロボット支援手術を開始しました。

消化器外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士など多職種が連携し、安全で質の高い医療の提供に努めています。地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して高度ながん治療を受けられるよう、診療体制の充実を進めています。

～ 地 域 の 皆 さ ま へ ～

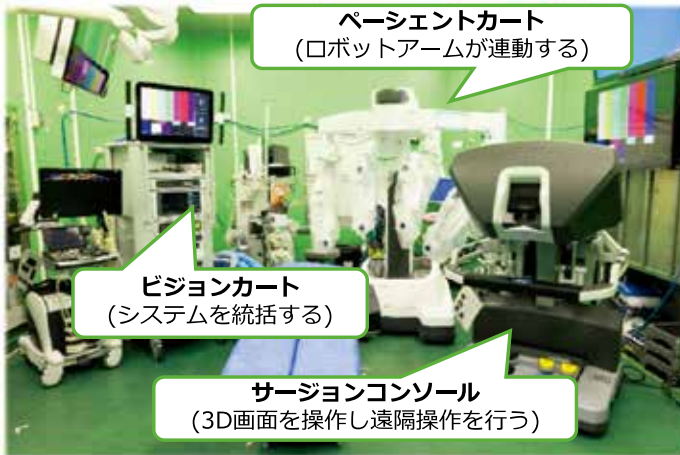
大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。また、治療法も年々進歩しており、患者さんの体への負担をできるだけ少なくする取り組みが進んでいます。検診で異常を指摘された方や治療について不安をお持ちの方は、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

私たちは患者さん一人ひとりに寄り添い、最適な治療を提供できるよう努めて参ります。

臨床工学技術部

臨床工学技士 高野 勝大

手術支援ロボット(daVinci)について



ダヴィンチシステム

daVinciとは？

daVinci(ダヴィンチ)とは手術支援ロボットの名称で、低侵襲な手術をロボット機能を用いて行うものです。

医師が装置を遠隔で操作し、ロボットが忠実に連動し、手術が進められます。

3D画面での緻密な操作が可能となり、正確で安全な手術を行えるようになっています。

チームで連携

医師、看護師、臨床工学技士など多職種が連携してより良い手術を行えるよう努めています。



ロボットアーム設置の様子



当センターの手術の様子

臨床工学技士の役割

臨床工学技士は、手術の準備作業や終了時にロボットの操作を行い、他に手術中のトラブル対応、メンテナンスにも対応しています。

また、手術によって使用する内視鏡システムや、手術室の限られた電気容量も管理し、安全な手術を目指しています。



内視鏡システム



準備・動作確認

リハビリテーション部

作業療法士 市橋 恒男

周術期のがんのリハビリテーションとは

周術期のがんのリハビリとは、手術の前から退院までの時期に、合併症の予防と早期回復、生活の質（QOL）維持・向上を目的として行う包括的なリハビリテーションを言います。がんの治療の時期に応じて、リハビリテーションの目的や役割が異なります。当院では、「回復的リハビリテーション」と言われるがんの術後や治療後によって低下した身体機能や日常生活動作を回復し、手術前の生活にできるだけ近づけることを目的に実施します。

※当院では、術後翌日からリハビリを開始し、一人ひとりの回復状況に合わせて進め、早期退院に向けて支援します。

●がんのリハビリテーションの分類（Dietzの分類）

（1）予防的（preventive）リハビリテーション

がんと診断された後、早期に開始されるもので、手術、放射線治療、化学療法の前もしくはすぐに施行される。機能障害はまだないが、その予防を目的とする。

（2）回復的（restorative）リハビリテーション

治療されたが残存する機能や能力をもった患者に対して、最大限の機能回復を目指した包括的訓練を意味する。機能障害、能力低下の存在する患者に対して、最大限の機能回復を図る。

（3）維持期（supportive）リハビリテーション

がんが増大しつつあり、機能障害、能力低下が進行しつつある患者に対して、すばやく効果的な手段（例えば自助具やセルフケアのコツの指導など）により、セルフケアの能力や移動能力を増加させる。また、拘縮、筋萎縮、筋力低下、褥瘡のような廃用を予防することも含まれる。

（4）緩和的（palliative）リハビリテーション

終末期のがん患者に対して、そのニーズを尊重しながら、身体的・精神的・社会的にも生活の質の高い生活を送れるようにすることを目的とし、温熱、低周波治療、ポジショニング、呼吸介助、リラクセーション、各種自助具、補助具の使用などにより、疼痛、呼吸困難、浮腫などの症状緩和や拘縮、褥瘡の予防などを図る。

がんの作業療法①改訂第2版より引用

リハビリテーションの役割

リハビリテーションの役割は、術後に痰が溜まって肺炎になるのを予防するために行う呼吸指導や術後の痛みにより体を動かすことが難しくなり、体力や筋力の低下を引き起こすことがあるため、動作指導・歩行練習・筋力トレーニング・有酸素運動を実施して廃用予防に努めます。

リハビリテーションのメニュー

筋力トレーニング



早期からゴムチューブを使用して筋力低下を予防するためのリハビリです。

動作指導



術創部に過度なストレスをかけないように起き上がりや日常生活の動作を指導します。

呼吸指導



肺炎等の呼吸器の合併症を予防するために痰を出やすくしたり、腹式呼吸の指導をするリハビリです。

歩行練習



医師の指示のもと早期から動くことで、廃用を予防するリハビリです。

有酸素運動



エルゴメーターを使用しながら、早期から体力低下を予防するリハビリです。

※術後は疼痛や不安が強い時期であると思います。リハビリは無理のない範囲で進めていきますので、痛みや不安があれば遠慮なくお知らせください。

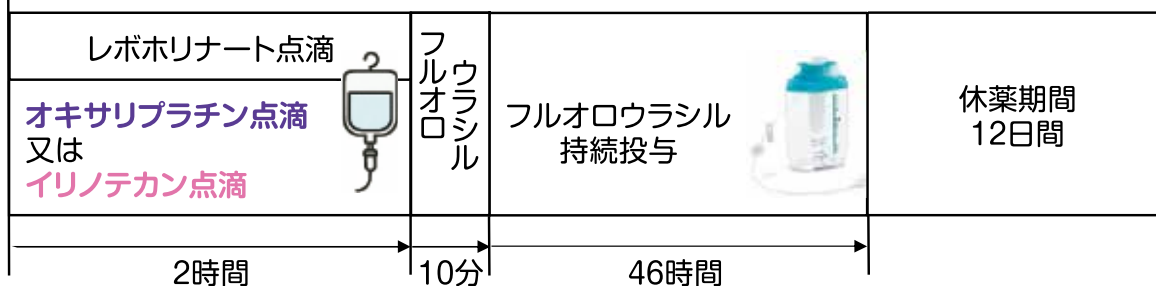
大腸がんにおける薬物治療

治療には内視鏡治療・外科治療・薬物治療・放射線治療・緩和医療があります。

主な薬物治療を紹介します。

①点滴の治療 例) FOLFOX療法(オキサリプラチン、レボホリナート、フルオロウラシル) FOLFIRI療法(イリノテカン、レボホリナート、フルオロウラシル)

点滴開始



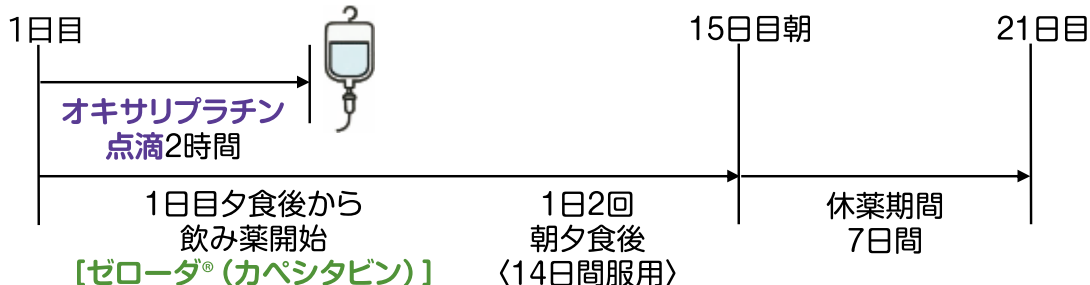
通常2週間を1クールとして繰り返します

副作用についてはファミリー第31号参照



②点滴と飲み薬の治療

例) XELOX療法(オキサリプラチン、カペシタビン)



通常3週間を1クールとして繰り返します

③飲み薬の治療

例) S-1療法、カペシタビン療法、レゴラフェニブ療法など

ゼローダ®(カペシタビン)の代表的な副作用

【手足症候群】

発生時期：4～8週くらいまでに起こることが多いです。

抗がん剤によって手足の皮膚が障害されることで起こる副作用です。

手や足がヒリヒリ・チクチクする、赤くなるなど、爪が変色することもあります。

その他に皮膚が乾燥してひび割れが起こることもあります。

治療が始まったら手や足をよく観察してください。症状は休薬することで改善します。



注意点

- ・保湿剤やハンドクリームで手足の乾燥を防ぎましょう。
- ・長時間足に体重がかからないようにしましょう。熱い風呂やシャワーは避けましょう。

全ての人にこのような副作用が現れるわけではなく、人によって個人差があります。

副作用が現れた場合は医師に相談してください。

中央臨床検査部

臨床検査技師 柳田 将太郎

血液検査における腫瘍マーカーの意義

●腫瘍マーカーって何？

がん細胞から分泌される特定のタンパク質や酵素のことであり、がんの種類や臓器ごとに特徴があるため、その検査値を調べることで、がんの診断補助や治療効果の判定などに幅広く用いられています。基本的には一度の検査結果だけでなく、時間経過とともに検査値の変動を観察します。



●大腸がんに関連する腫瘍マーカーは？

臓器ごとに数々の腫瘍マーカーがありますが、大腸がんに関連する主な腫瘍マーカーとしてCEAとCA19-9が挙げられます。

CEA

……胎児の腸管に存在する糖タンパクであり、成人健常者の体内にはわずかしかな存在しません。成人の場合、消化器系のがんが発生するとCEAが作られるようになり検査値が上昇します。

CA19-9

……膵臓がんや胆道癌などでも上昇します。

●腫瘍マーカーの注意点！

がん以外の良性疾患や喫煙、加齢、妊娠などの要因によっても影響を受け、検査値が上昇することがあります。また逆にがんがあっても検査値が高くないこともあり、腫瘍マーカーの検査値だけでがんの確定診断をすることはできません。

そのため腫瘍マーカーはあくまでも補助的な検査として位置づけられ、高い数値が検出された場合は、さらなる詳細な検査（大腸内視鏡検査など）が推奨されます。

●腫瘍マーカーの活躍の場

腫瘍マーカーは採血で得られた血液を用いて検査が行えるため、患者にかかる負担が少ない上に迅速かつ簡便であることから広く利用されています。近年では健康診断の際にオプション検査として腫瘍マーカーが取り入れられていることが多く、腫瘍マーカーを検査できる機会が増えてきています。

※大腸がんの関連検査として過去に「便潜血検査」についてもご紹介しております！



便潜血検査について紹介している
過去のファミリーはこちら！

中央放射線部

診療放射線技師 菅家 大樹

手術前に「体の中の地図」をつくっています。

当院では術前に行った造影CT検査より体の中の血管や臓器、骨を立体的に再現した「3D画像」を作成しています。

●3D画像ってなに？

通常のCT画像は輪切りですが、それをワークステーション（3D画像を作成・編集する装置）で組み合わせることによって立体的に表現することができます。これにより血管や臓器の位置関係を立体的に把握することができます。



●術前画像は手術の設計図

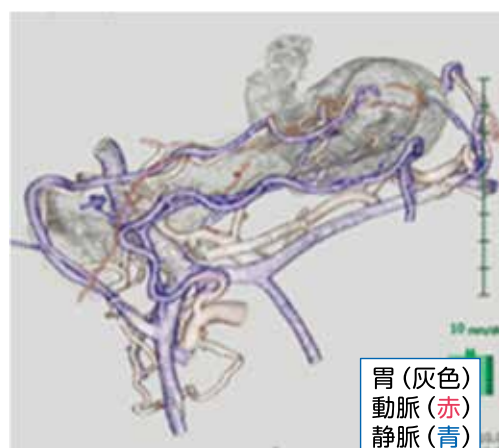
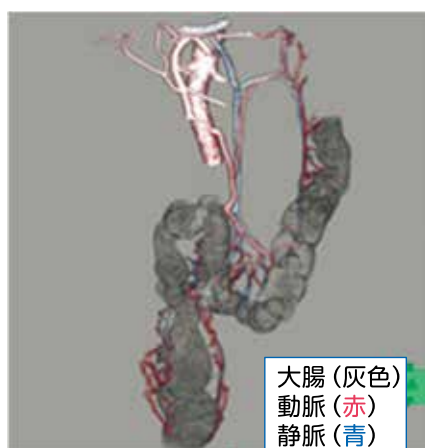
「地図なしでは航海はできない。」有名なウィリアム・オスラーの言葉です。術前の画像は手術の設計図であり、手術を成功へと導く道標となります。3D画像もその一つです。

3D画像では、

- ・血管分岐・走行のバリエーション
- ・腫瘍と周辺構造の位置関係
- ・切離ラインの検討

など術前に具体的に検証することで、**術中の判断を補助し、手術の再現性と安全性の向上**に寄与します。

●実際の 3D 画像(左：大腸がん手術用、右：胃がん手術用)





栄養管理部

管理栄養士 西川 照子

.....毎日手軽にシンバイオティクス.....

シンバイオティクスとは腸に良い菌（プロバイオティクス）とそれを育てるエサ（プレバイオティクス）を同時に摂取し、より効果的な便秘解消や免疫力向上を目指す、いわゆる“腸活”です。身近な食材を上手く組み合わせることで手軽に楽しくシンバイオティクスを実践することができます。

- 腸に良い菌**：乳酸菌、納豆菌、ビフィズス菌、酪酸菌、麹菌など
- 腸に良い菌を育てるエサ**：水溶性食物繊維、一部の不溶性食物繊維、オリゴ糖など

納豆春巻き



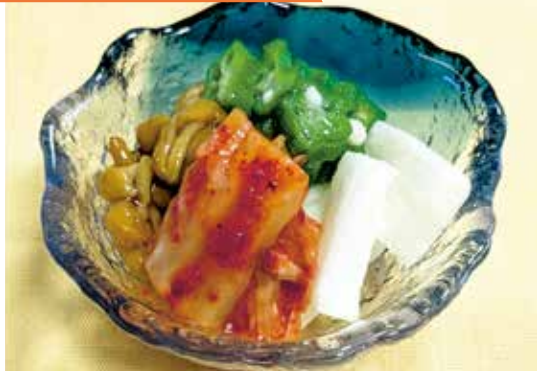
納豆、**白ネギ**のみじん切り、青シソを春巻きの皮で巻いて揚げています。**納豆**の納豆菌は熱にも強いそうです。**白ネギ**にはオリゴ糖や水溶性食物繊維が豊富です。

里芋のごま味噌田楽



やわらかく煮た**里芋**に生姜汁とたっぷりのすりごまが入った田楽味噌を絡め、ゆず皮を添えています。**味噌**の乳酸菌や麹菌と**里芋**の水溶性食物繊維のシンバイオティクスです。

ネバネバキムチサラダ



オクラ、**長芋**、**なめこ**などのネバネバ食品は水溶性食物繊維の宝庫です。**キムチ**に含まれる乳酸菌が腸内で活躍してくれそうな一品です。

はちみつフルーツヨーグルト



ヨーグルトには乳酸菌や一部商品にはビフィズス菌も含まれます。水溶性食物繊維が豊富な**バナナ**や**キウイ**などの**果物**やオリゴ糖を含む**ハチミツ**との組み合わせは相性抜群です。

※**赤字**：腸に良い菌が含まれる食品、**緑字**：腸に良い菌のエサになる成分を多く含む食品

●西和医療センター各種公開講座のご案内●

地域住民対象の講座

WEB参加も
可能です。

当院外来
患者さんのみ
対象です。



教室名	日時	教室名	日時
糖尿病教室 ★糖尿病教室のお申込は… 当センター栄養管理部 電話:0745-32-0505 (代表)	9月16日(水)	腎臓病教室 ★腎臓病教室のお申込は… 当センター人工透析室(12:30~13:30) 電話:0745-32-0505 (代表) または、診察時にお尋ねください。	9月24日(木)
	10月28日(水)		10月1日(木)
	11月25日(水)		10月8日(木)
	1月20日(水)		10月15日(木)
	2月24日(水)		

※いずれも事前申込制です。詳細はお問い合わせください。

医療従事者対象の講座

西和MC在宅支援講座(Web開催)

- 令和8年12月10日(木) 17:30~18:30
リハビリテーション栄養含む
- 令和9年2月18日(木) 17:30~18:30
心不全看護認定看護師



連携

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和8年11月26日(木) 14:00~15:00
総合内科・感染症内科・腫瘍内科／
感染対策室
- 令和9年1月14日(木) 14:00~15:00
産婦人科／中央臨床検査部
- 令和9年3月17日(水) 14:00~15:00
小児科／薬剤部

*変更の可能性もあります。
詳細はお問い合わせ下さい。



※いずれも事前申込制です。詳細はお問い合わせください。

★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。医療の質における継続的な改善活動に取り組むことで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民の命と安全を守ることに貢献します。

「ファミリー」は年に3回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしてまいります。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和8年9月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-32-0517(代表)

過去のファミリーはこちら!!

